

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院婦人科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

先進医療としての腹腔鏡下広汎子宮全摘術の再発のリスク因子の後方視的検証
(JCOG1081s-A1)

2. 対象となる方

2014年12月から2016年11月までの2年間に先進医療として行われた腹腔鏡下広汎子宮全摘術を受けられた方、JGOG1081sに参加された方

3. 研究目的

先進医療として行われた Laparoscopic Radical Hysterectomy (LRH) 263 症例の実態調査研究を過去に行っており、この症例を対象に手技の詳細を含めた長期予後の追跡調査を行い、さらに一定の基準を設けることで良好な予後の担保を行うことができるかを検証します。

4. 研究期間

2019年9月(倫理審査委員会承認後)～2019年12月31日(予定)

5. 研究に用いる情報の種類

術前MRIと摘出標本での最大腫瘍径、LRH執刀症例数、子宮回収方法、リンパ節回収方法、術後30日以内の合併症の詳細、再発部位の詳細等

6. 実施方法

この研究に使用する情報を研究代表機関に提供させていただきます。研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住所などが特定できないようにしたうえで提供します。また、患者さんの氏名やカルテ番号を置き換えた番号との対応表も当院で保管し、当院以外へはできません。

【主な提供方法】電子的配信

7. 研究組織

代表施設・代表者

大阪大学医学部附属病院 産婦人科 小林栄仁

参加施設

| | |
|-------|-------------------|
| 金尾祐之 | がん研有明病院 婦人科 |
| 寺井義人 | 大阪医大 産婦人科 |
| 山下 剛 | 市立函館病院 産婦人科 |
| 梅村康太 | 豊橋市民病院 女性内視鏡外科 |
| 干場 勉 | 石川県立中央病院 産婦人科 |
| 田中浩彦 | 三重県立総合医療センター 産婦人科 |
| 安藤正明 | 倉敷成人病センター 婦人科 |
| 長谷川哲哉 | 大和市立病院 産婦人科 |
| 志岐保彦 | 大阪労災病院 産婦人科 |
| 浅田弘法 | 新百合ヶ丘総合病院 |
| 舟本 寛 | 富山県立中央病院 産婦人科 |
| 干場 勉 | 石川県立中央病院 産婦人科 |
| 吉田 浩 | 横浜市立市民病院 産婦人科 |
| 小谷泰司 | 近畿大学 産婦人科 |
| 京 哲 | 島根大学 産婦人科 |
| 戸上真一 | 鹿児島大学病院 産科・婦人科 |
| 依光正枝 | 広島市立広島市民病院 婦人科 |
| 松浦俊明 | 福岡総合病院 産婦人科 |
| 藤原 浩 | 金沢大学附属病院 産科婦人科 |
| 吉野 潔 | 産業医大 産婦人科 |
| 権丈洋徳 | 九州大学医学部付属病院 産婦人科 |
| 藤岡 徹 | 愛媛大学医学部付属病院 産婦人科 |

8. 研究代表者及び研究責任者

研究代表者：大阪大学附属病院 産婦人科 小林栄仁

当院の研究責任者：

広島市立広島市民病院 婦人科 部長 依光正枝

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出く

ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 婦人科 依光正枝